

多彩なライフスタイルを描くまち 真庭

Maniwa Public Relations

広報真庭

8

2019

第172号

- 主な記事
- 特集 農畜産物直売所 P02～
 - 市政トピックス P08～
 - お知らせ P10～
 - 真庭が好きっ読者の広場 P22～
 - 真庭人 安藤有輝さん P26～
 - 研鑽に荣誉 P27～
 - ぐるっと真庭 まちの話題 P28～



旬の味覚を 直売所でゲット

7月14日、道の駅醍醐の里でとうもろこし祭りが開催されました。会場に用意されたのは、市内で収穫されたとうもろこし1,000本以上。焼とうもろこしや焼きそばなどの屋台も出されました。会場にはたくさんの買い物客が訪れ、用意されたとうもろこしは完売しました。

産地直売

あなたの野菜を
届けましょう



真庭市場2号店 滋賀県守山市にオープン

真庭市内で生産された野菜や加工品、特産品などを中心に販売している真庭市場を知っていますか。

真庭市場の1号店が大阪府高槻市にオープンしたのは平成24年8月。真庭市内の道の駅など農産物直売所と連携し、市内産野菜などの販売を行っています。真庭市場1号店を運営する株式会社オール真庭が、6月28日に滋賀県守山市にあるショッピングセンター「モリーブ」に2号店をオープンしました。

開店初日には守山市内だけでなく、近隣地域からも多くの買い物客が訪れていました。また、来場者の中には真庭市出身の人や、真庭市に親戚がいる人などもあり、「開店を待っていた」「生まれ育った真庭の野菜を食べるのが楽しみ」など、ふるさと真庭を懐かしむ人がいました。



おいしいチョコが
いっぱいだよ



新鮮な野菜と
特産品が楽しみ
今日は乳製品を
買いました



真庭市出身なので
ふるさとの味が
うれしいですね



真庭市場1号店 大阪府高槻市で営業中



大阪府高槻市で営業している真庭市場1号店。地域内での移転もありましたが、開店から8年が経過し、今では地域の人たちに愛される農畜産物直売所となっています。

午前10時の開店を待つ人が、店の外で行列になる日もあり、この日も多くの人が、開店を待っていました。



農畜産物直売所に 出荷するには？

農家から直接出荷している農産物は、新鮮で安心・安全を求める消費者から人気を集めています。

市内の直売所8カ所と市外にある真庭市場2カ所の合計10カ所が連携し、農産物の相互輸送を行う取り組みを進めています。直売所へ出荷する方法などについて、真庭市場の運営、そして真庭あぐりネットワーク推進協議会で農産物の輸送を行っている、株式会社オール真庭の田中本部長にお話を伺いました。

真庭あぐりネットワーク推進協議会とは、どのような組織なのですか。

高齢化や小規模でも農業が発展する仕組みづくりとして、市役所や農協、直売所などで構成しています。主な取り組みとして、直売所間での農産物の輸送や京阪神地域などへの直売所の出店を行っています。どの取り組みも、同時期に出荷が集中しても売れ残りを発生させない、出荷先の確保、遠方への出荷対応といった、農業者の皆さんの所得向上と農作物の生産増加を目指した取り組みとなっています。

真庭市場など、直売所に出荷するにはどのようなようにしたらよいのでしょうか。

まず、最寄りの直売所の会員登録を行ってください。さらに販売したい直売所ごとの登録も必要です。最寄りの直売所でお届けするとき、登録しているどの直売所でも販売するかを選ぶことができます。輸送は協議会が行うので、遠方の直売所でも販売することも選ぶことができます。会員登録の費用や直売所の手数料、輸送手数料が必要になります。

出荷するときに気を付けることなどありますか。

出荷するときには、消費者が手に取りやすいよう包装したり、生産方法や調理方法を書いた紙を入れたり、ちよつと工夫をすることで、売れ方が大きく変わってきます。

また、真庭市場では生産者への情報提供として、販売数量などともに在庫状況もお知らせしています。時期に応じ、売れている旬の農産物を出荷することも大切ですが、多くの種類の農産物が売り場に並び、消費者が買い物を楽しめるように、売り場に少ない農産物もぜひ出荷をお願いします。



真庭市場2号店で商品を整える田中本部長(写真右)

市内の農業者の人へメッセージをお願いします。

真庭あぐりネットワークを活用して、多くの農業者の人が出荷しています。少しの出荷量でも直売所は販売が可能ですので、出荷するか悩んでいる人はぜひ参加してください。1つの種類を一度に多くよりも、いろいろな種類を少量でも日々出荷していたことが大切です。

また、県外の真庭市場では、生産者の顔が見える産地直売はとても喜ばれていて、多くのリピーターがいますし、真庭出身者も生まれ育った真庭の野菜を楽しみにしています。皆さんの生産した野菜をぜひ出荷してください。



田中智行 本部長

株式会社オール真庭
〒719-3115
真庭市中429-1



真庭市場2号店(モリーブ内)
滋賀県守山市播磨田町185-1
TEL077-598-0991



新鮮で
美味しそうなので
いっぱい買いました

市外の 農産物直売所 (2カ所)



真庭市場1号店
大阪府高槻市高槻町14-20
TEL072-668-7735



道の駅「風の家」
真庭市蒜山上徳山1380-6
TEL0867-66-4393



ふるさとふれあい特産館
真庭市蒜山下長田2050-1
TEL0867-66-3141



下湯原温泉ひまわり館
真庭市下湯原24-1
TEL0867-62-7080



健康の里
真庭市江川834-1
TEL0867-44-5831

市内の農産物直売所 (8カ所)



いっぱい
あるね



きらめきの里
真庭市中島422-1
TEL0867-42-8177



コスモスの里特産品ふれあいセンター
真庭市上水田6328-1
TEL0866-52-3191



道の駅「醍醐の里」
真庭市鹿田391-1
TEL0867-52-8040



ふれあい即売センター
真庭市古見1712-2
TEL0867-42-8771

田 畑を荒らさないために以前から野菜づくりはしていましたが、家で食べた
り、子どもたちに送ったり、近所に配ったりで、野菜づくりの専門家ではないので出荷はしていませんでした。ですが、真庭市場の関係者の人と縁があり、「少量の出荷も受け入れられますよ」と声を掛けていただいたこと、そして、畑まで野菜を見に来ていただき「商品として出荷できますよ」と応援いただいたことで、



海原 隆さん
容子さん(中河内)

主な生産品目:キュウリ
ナス
ジャンボピーマン
オクラ



出荷を始めました。季節ごとに自分たちが食べたい野菜をつくっているの
で、少量でいろいろな種類の野菜を出荷しています。日によつては1袋だけ出荷の日もあります
が、2人で手分けしながら作業をしています。規格が揃っていないくても受け入れてもらえること、出荷時間
もゆとりがあることで、天気や体調を考えながら、自分たちのペースで出荷することができ、また、野菜づくり
をすることでオール真庭の人やホームセンターの人など、いろいろな人と新しいネットワークができ、毎日楽しみながら農業をしています。

しています！ てみませんか～



畑 は母親が家で食べるものを中心につくっていましたが、私が退職する少し前に、使っていないかった畑にブドウを植え、シャインマスカットや瀬戸ジャイアンツを増やしました。1年を通すと野菜などと合わせて20種類程をつくっています。種類は多いですがそれぞれ少量なので、今のような暑い時期には涼しい時間に作業をして9時頃には出荷を済ませ、自由な時間も楽しんでいきます。真庭市場へ出荷を始めて7年程になります。販売の状況や在庫の状況を教えてもらえることで出荷量の調整ができること、頑張つてつくった野

菜を自分で評価し価格を付けることができるので、自分の意思表示がしっかりとできることがつくるとききの励みになります。最近ではバイオ液肥も使っていて、とても美味しい野菜がつくれています。畑をしっかりと管理し荒らさないことを第一に作業をしています
が、良い野菜ができて出荷するときはとても嬉しいですね。これからも農業を楽しみながら出荷を続けていきます。

入江 好章さん(富尾)

主な生産品目:ブドウ
インゲン豆
ホウレン草





石井 慎五さん(下中津井)

主な生産品目:ブドウ

10年前、大工を引退した頃、息子が私に言った「親父、ブドウでも作ってみたら。」のひと言が、ブドウ栽培のきっかけでした。それまで田んぼも畑も他界した父が管理していて、農業経験のなかった私は、「いきいき帰農塾」に申し込みをして、ブドウとキウウリの栽培方法を学びました。やってみると、農業は奥深く、勉強の毎日です。なかなか自分の納得のいくものはありませんが、いいものを作り

たくて、先輩農家さんの話を聞いたり、書物に目を通したりするようにしました。ブドウは手をかければ、かけただけのものができます。作業も、土づくりに始まり、出荷まで1年を通じて作業があり、退屈することがありません。出荷の際は妻も手伝ってくれて、私のブドウにはいつもリボンをつけています。自分の名前がついている品物が店頭で並ぶというのも、直売所の魅力の1つです。プレッシャーもありますが、食べてくれた人たちが、「美味しかったよ。」と言ってくれることが何よりの励みになります。



私たちも出荷 ～一緒に出荷し

